

令和9年度入学者選抜における実施内容（予定）

- （表の見方）
- 「募集」欄は令和8年度(2026年度)入学者選抜の募集学級数です。令和9年度入学者選抜の募集学級数は11月に発表する予定です。
 - 前期選抜の募集枠％の数字は募集人員の上限を表しています。
 - 第2志望欄の○印がついている学科間においては第2志望（学校により第3志望まで）を認めます。（別紙「第2志望及び第3志望の取扱い一覧」参照）
 - 傾斜配点欄は実施する教科および倍率です。
 - 再募集欄は前期選抜及び後期選抜において、入学予定者数が募集定員に満たなかった場合の実施予定内容です。
 - ）は、くくり募集をする学科です。
 - 空欄になっている箇所については実施しません。
 - 前期選抜及び後期選抜では学力検査を実施します。
 - 小論文Aは与えられたテーマに関して一つの論文として答える形式、小論文Bは与えられたテーマに関して論理的に構成されたいくつかの設問に答える形式です。
 - 再募集の志願理由書から実技検査欄については、後期選抜において実施する内容と同じかそれに準ずる場合は○印がついています。

前期選抜・後期選抜・再募集

番号	高校名	学科		募集	前期選抜（自己推薦型選抜）						後期選抜（一般選抜）						再募集					
					募集 枠%	募集の観点	志願理由書	面 接	作 文 (小論文)	実技 検査	志願 理由書	面接 方法	面 接	作文	実技 検査	傾 斜 配 点	第 2 志 望	志願 理由書	面 接	作文	実技 検査	傾 斜 配 点
61	駒ヶ根工業	工業	機 械 電 気 情報技術	3	60	基本的な生活習慣（決められた時間を守る、挨拶ができるなど）や学習習慣が備わっており、次の①②のいずれかを満たすこと。 ①工業の内容に興味・関心があり、専門的な知識・技術の習得を希望している者 ②ものづくりの経験やものづくりに対する積極的な意欲がある者	次の①～③の事項について本人が記入して提出する。 ①志望動機 ②入学後の抱負 ③自己PR文	志願理由書に書かれた内容をもとに10分程度の面接を行う。				紙上						15分程度の個人面接 ①本人の入学意志 ②中学校における学習や諸活動の状況				

令和9年度前期選抜における評価方法（予定）

- （表の見方）
- 「観点別」欄は同一学科内において「募集の観点」で示した区分や受検の型等により評価方法が異なる場合には分けて表しています。
 - 「調査書」から「実技検査」欄の「比重」の数値は、それぞれの資料が総合判定においてどの程度重視されるのか、その目安を百分率で表しています。評価点を示したのではなく、合計して可否を判定するわけではありません。
また、複数の選抜資料の相関関係を見ながら総合的に判定する場合は、備考欄において解説しています。
 - 「調査書」から「実技検査」欄の「項目等」の内容は、それぞれの資料において重視する項目を表しています。
 - 「調査書」はすべての記載内容を判定資料としますが、特に重視する項目については「項目等」欄に表記しています。
 - 事前に提出された「志願理由書」の記載内容については、調査書及び面接の参考にします。

番号	高校名	学科	観点別	評価方法	調査書	面接	学力検査	作文(小論文)	実技検査	備考
61	駒ヶ根工業	工業	機械	項目等	比重 45	30	25	-	-	
		電気			学習成績、部活動やその他のスポーツ・文化などの校内外の活動、特別活動、資格・検定等に加え、基本的な生活習慣を含め総合的に評価する。 各教科において基礎学力が定着していること。 提出物がしっかり出されていることが望ましい。	志望動機 意欲 自己PR 基本的な生活習慣 態度 みだしなみ				
		情報技術								